

事務事業 No./名称	■サービス部門 こども-04 子ども会館・子どもの家管理運営事業				ザイムスコード及び個別事業名	
	□支援部門				1309	子ども会館・子どもの家管理運営事業
主管課	こどもみらい課		関連課	青少年課		
分野名	健康福祉					
目標 (目標値)	市内各小学校区にそれぞれ1箇所ずつ子ども会館・子どもの家を整備します。(子ども会館・子どもの家各16箇所)					
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考		
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯			
運営資源 状況	決算値	1,799千円	213,561千円			
	(国・県)		28,594千円			
	(負担金等)		39,693千円			
	(一般財源)		145,274千円			
	人員配置数	0.7人	2.5人			
	人件費	6,796千円	23,835千円			
	協働の パートナー					
事務事業 運営経費	総事業費	8,595千円	237,396千円	20年度		
	市民1人当 りの経費	49円	1,345円	21年度		
	対象者1人 当りの経費		10,720円	22年度		
	ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名				
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 全ての小学校区内に、小学校に近い子ども会館・子どもの家の設置が望まれている。また、学校敷 地内に建築を行うために、特区を活用することが可能かどうかを含め検討する必要がある。 既存の子ども会館・子どもの家についても多くが老朽化しており、延命化を図るため計画的な修繕を 行う必要がある。				
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 第一小学校区において「だいいち子どもの家」の設置の検討が進んだ。深沢小学校区内において は、深沢小学校空き教室を利用した子どもの家を平成22年度に設置工事ができるように図った。				
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 子ども会館の未設置学区への整備の見通しや、老朽化の進む既存の施設について、優先順位をつ けた今後の方向性の早急な検討が必要である。 また、余裕教室の活用については、少人数学級の導入や特別支援学級の増設により厳しい状況と なっている。				
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 要望の強い小学校区について、そのニーズの把握と、候補地の調査を行っていく。また、用地の確保 が難しい中、学校敷地内に建築を行うにあたり、特区を活用すること検討していく。 既存の施設に関しても、計画的な修繕により延命化を図る。				
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了						
評価結果	改善の必要性	子ども会館・子どもの家に対するニーズは年々 強くなっていると感じている。厳しい財政状況 のなか、そのニーズを満たすべく、最大の問題 である候補地について、検討を進めていき たい。		評価結果	改善の必要性	子どもの居場所づくりとして、子ども会館・子 どもの家のような施設は不可欠であり、その 充実に努めていく。
A	有			A	有	
課長名		相澤 達彦		部名・部長名		佐藤 尚之